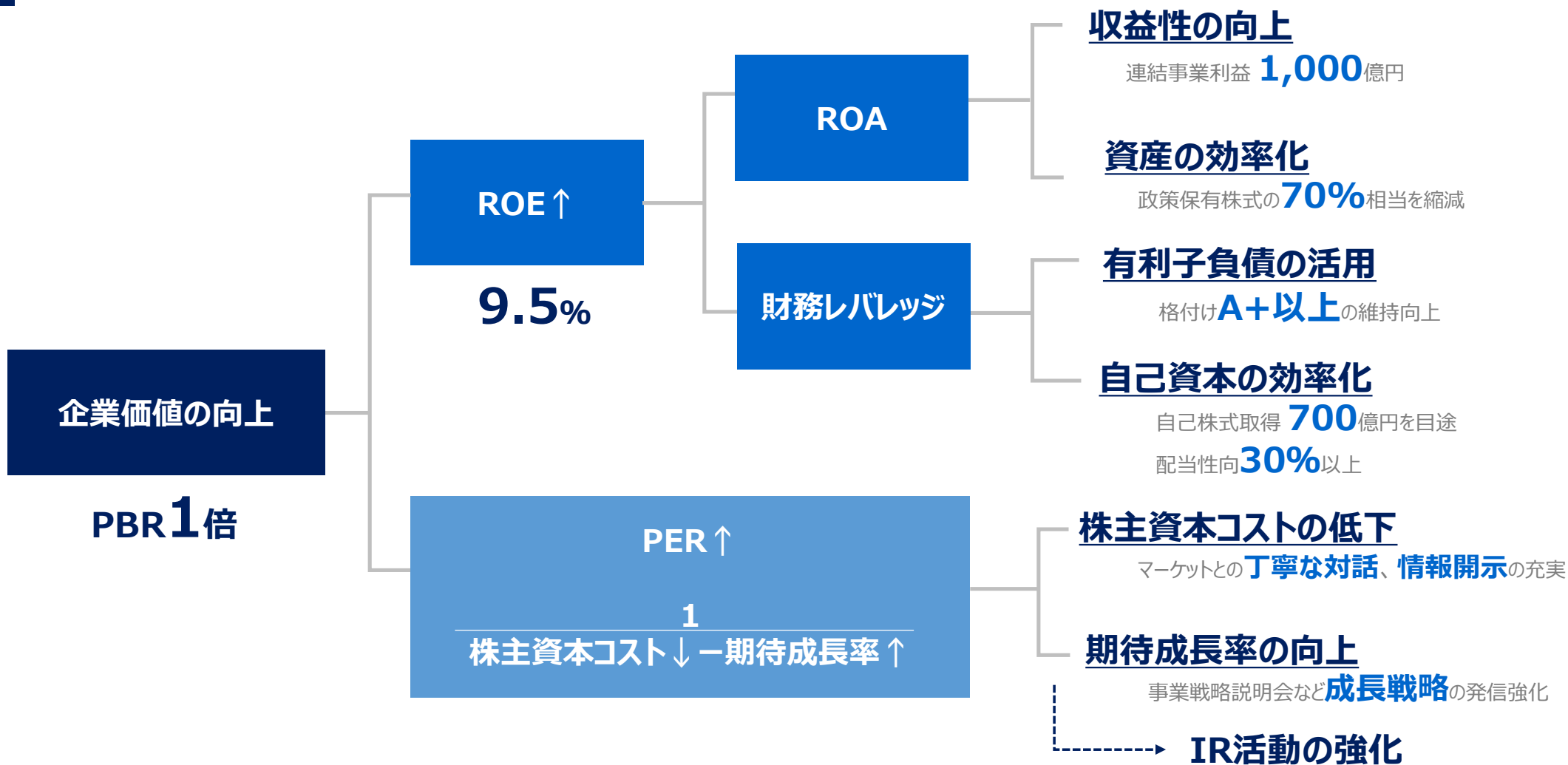
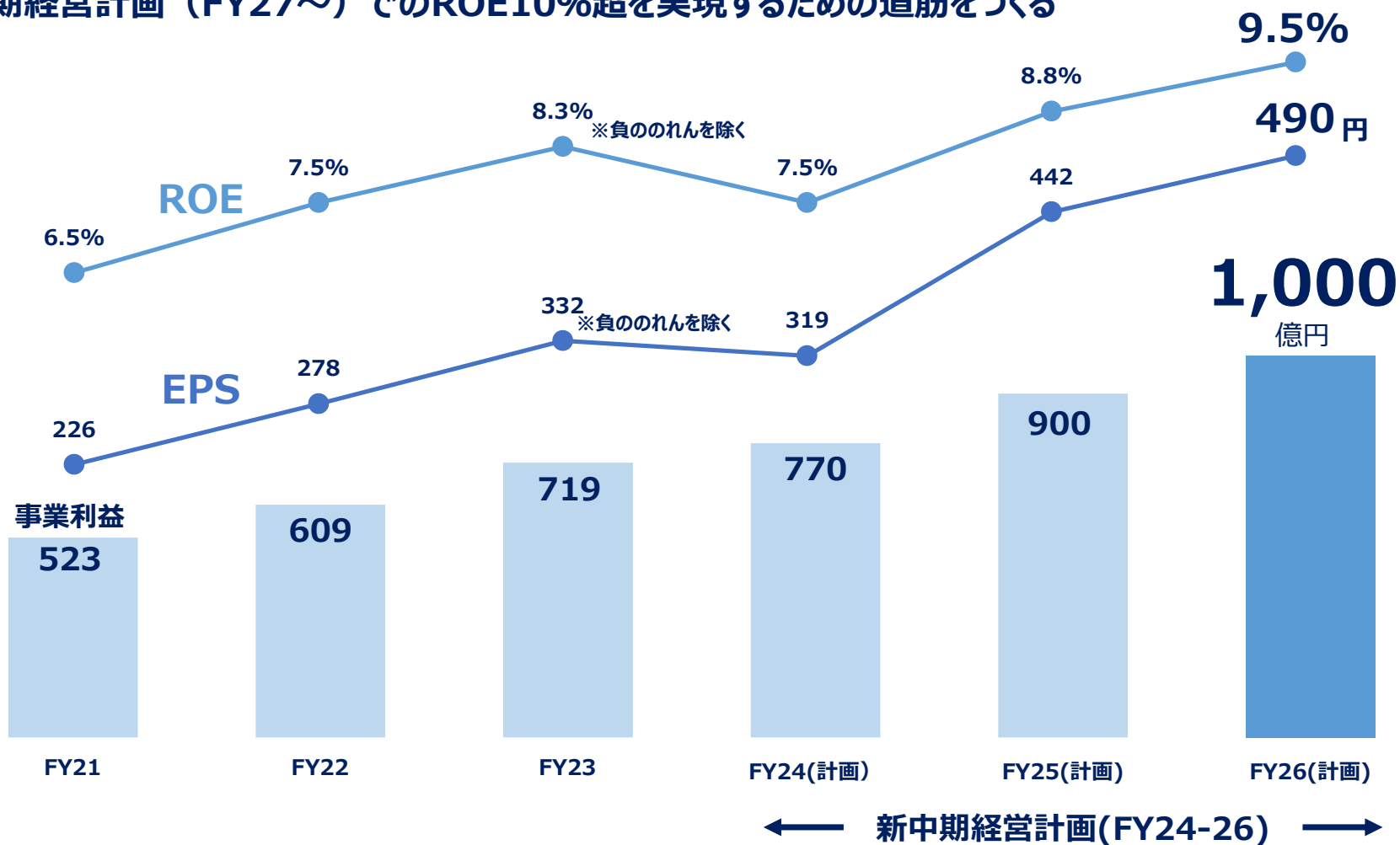


資本コストや株価を意識した経営実現に向けた考え方



事業利益・ROE・EPSの見通し

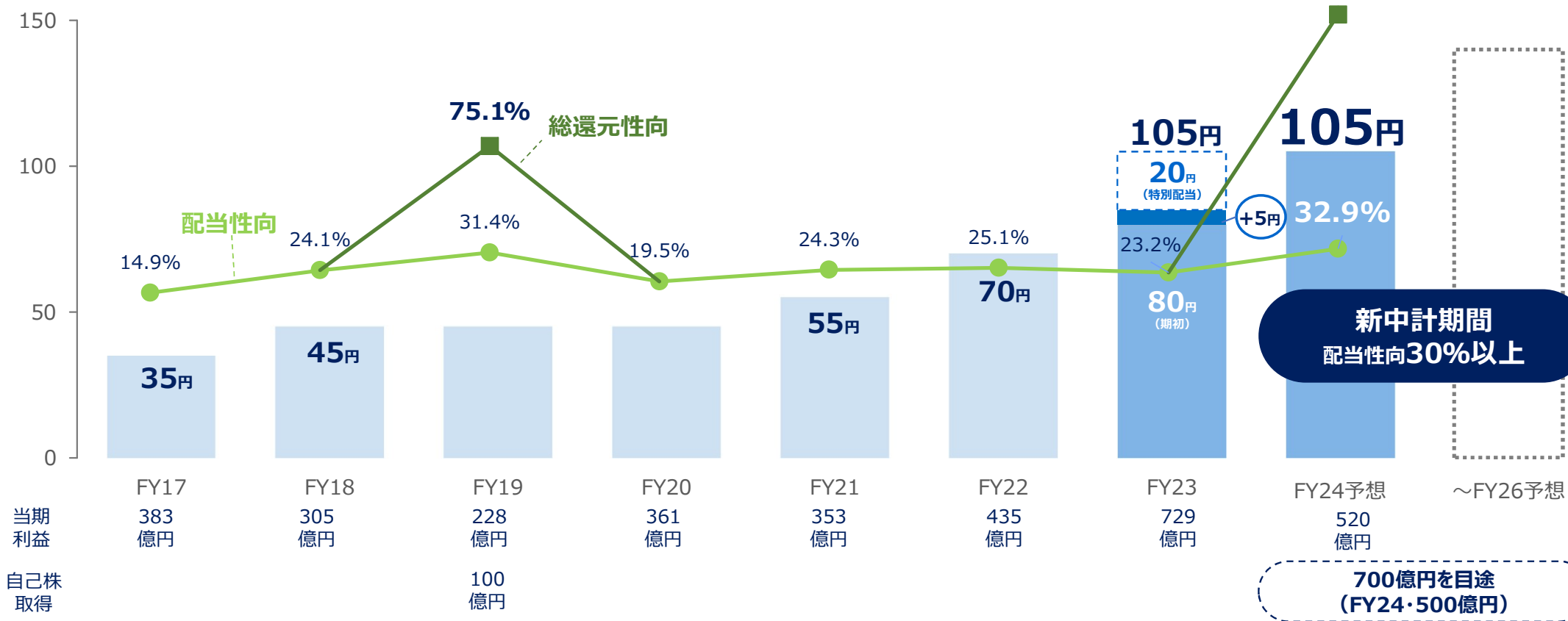
✓ 次期中期経営計画（FY27～）でのROE10%超を実現するための道筋をつくる



株主還元

- ✓ FY23は連結業績を踏まえ、直近の配当予想から普通配当を5円増配し、1株当たり105円とする
- ✓ 「安定的・継続的な配当」の基本方針は従来から変更ないものの、新中計期間中の配当性向は30%以上
- ✓ 自己資本額の適正化に向けて、新中計期間中に700億円を目途に自己株式取得を計画
このうち、FY24に500億円を実施

(1株配当金:円)



キャッシュ・アロケーション

基の方針

- ✓ 継続的成長に向けた投資の強化
- ✓ 資本効率を高める構造改革の推進
- ✓ 安定的な株主還元の実現

FY24-FY26見通し

キャッシュ・イン

キャッシュ・アウト

資産売却
400億円～

成長投資
構造改革
800億円～

資本効率up
～700億円

レバレッジの
活用

営業債権の拡大

信用力の維持（格付A+以上）

新中計(FY24-26)の考え方

- ✓ 成長投資による「稼ぐ力」の強化
- ✓ 既存ビジネスの「稼ぐ力」の改善
- ✓ 生産性向上を意識した事業運営

■ 資本政策

- ✓ 政策保有株式の**70%**相当を縮減
- ✓ 配当性向は**30%**以上
- ✓ **700**億円を目途に自己株式取得を実施
FY24は**500**億円、それ以降も機動的に実施
- ✓ 資本コストの低減（CAPM**8.5%**～**11.5%**）

■ 重点施策

- ✓ **800**億円以上の成長投資
（内**700**億円をグローバル事業へ重点的に実施）
- ✓ 事業構造改革、関係会社とのシナジー追及等